

DX化支援研修サービスのご提案

-AI活用実践編-

SE・Seal Engineering

会社名	株式会社シールエンジニアリング
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-9 住友新虎ノ門ビル
設立	2016年8月
資本金	150百万円
事業内容	・蓄電池の設計、施工 ・蓄電池の販売、運営・保守（O & M） ・再生可能エネルギー関連事業 ・移動体通信工事事業 ・DX化支援研修サービス
URL	https://dx.sealengineering.co.jp/

DXとはデジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）※の略で、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指します。

※英語圏では接頭辞の「Trans」を「X」と書く慣習があるため、「DX」と表記されます。

弊社の研修サービスでは、ChatGPTのようなテキスト生成AIの学習にとどまらず、画像生成や動画生成、さらにそれらの素材を編集するためのAI技術も学べる包括的なカリキュラムを【映像制作編】にて提供しています。加えて、【AI活用実践編】のカリキュラムでは、日々の仕事現場で起こる数々の問題や課題に対して、最新の生成AIツールを幅広く活用し、解決していく考え方やAIの掛け合せのスキルを効率的に学ぶことができます。

このプログラムを通じて、企業の従業員は生成AIの可能性を総合的に理解し、その結果、無から有を生み出す力が育まれ、新たなアイデアの創出や革新的なビジネスモデルの提案、現状の課題解決が実現します。

人材育成は企業のDX推進の鍵を握る要素であり、これらのスキルを習得することで、企業の競争力を飛躍的に向上させ、さらには企業価値の大幅な向上が期待できます。



Genspark



perplexity



Notion



HeyGen



DX化事業における生成AIの活用は業務効率化に大きく貢献しますが、ネットリテラシーが欠如していると情報漏洩やコンプライアンス違反といったリスクが発生します。生成AIの仕組みを正しく理解し、入力内容を慎重に扱うことで、こうした問題を未然に防ぐことが可能です。また、AIが生成する情報には誤りが含まれる場合があるため、内容を批判的に検証する力も必要です。ネットリテラシーを高めることは、生成AIを安全かつ効果的に活用するための必須条件です。

～考えられるリスクの例～



情報漏洩によるトラブル

生成AIに取引先の契約内容や顧客リストなどの機密情報を入力した場合、それが外部サーバーに保存される可能性があります。これにより、機密情報が第三者に漏洩し、企業の信頼が損なわれる恐れがあります。



法的トラブルの発生

AIが生成したコンテンツをそのまま使用した結果、著作権侵害や虚偽情報の発信による法的な問題が発生することがあります。たとえば、生成された資料に誤情報が含まれていた場合、それを基に取引先と契約を結んでしまうと、後々トラブルの原因となります。



社員や組織の信頼失墜

社内規定に違反してAIを使用したことが発覚すると、当該社員だけでなく、組織全体の信頼が揺らぐ可能性があります。特にDX化を推進する部門がこうした問題を起こすと、プロジェクト全体の進行に悪影響を与えます。

以上のように、生成AIを活用する上でネットリテラシーを高めることは、リスクを回避しながらDX化の効果を最大化するために重要なポイントです。社員に対して適切な教育を実施し、生成AIの使用に関するガイドラインを明確化することで、企業全体として安全かつ効果的にAIを活用する基盤を整えることができます。

第1弾

～映像制作編～

- ・テキスト生成
- ・画像生成
- ・動画生成・編集



15種のAIについて網羅的に学べます。
AIについて広く学び、AI導入の土台作りに最適です。

第2弾

～AI活用実践編～

- ・分析、戦略案のアイデア出し
- ・市場調査・各種資料制作
- ・議事録自動化から情報共有



12種のAIについてストーリー形式で学べます
利用シーンを学べるから即実践に最適。

映像制作編からAI実践編と段階的に
受講していただく事で、AIについて
より深く、確実に習得できます。



こんなお悩みをお抱えの法人様に最適です！



業務が忙しくて
他に手が回らない



AIを使った業務効率化で
時間とリソースを最大化します



AIは使っているけど
使いこなせているか不安



主に複数の生成AIの
掛け合せについて学びます



現場で使える
AIスキルを身につけたい



実践的なAIスキルを
短時間で習得し即戦力に！

従来の課題に対して、構成を工夫することにより
スキルと応用力が身につく研修となっております。

従来の研修課題

1

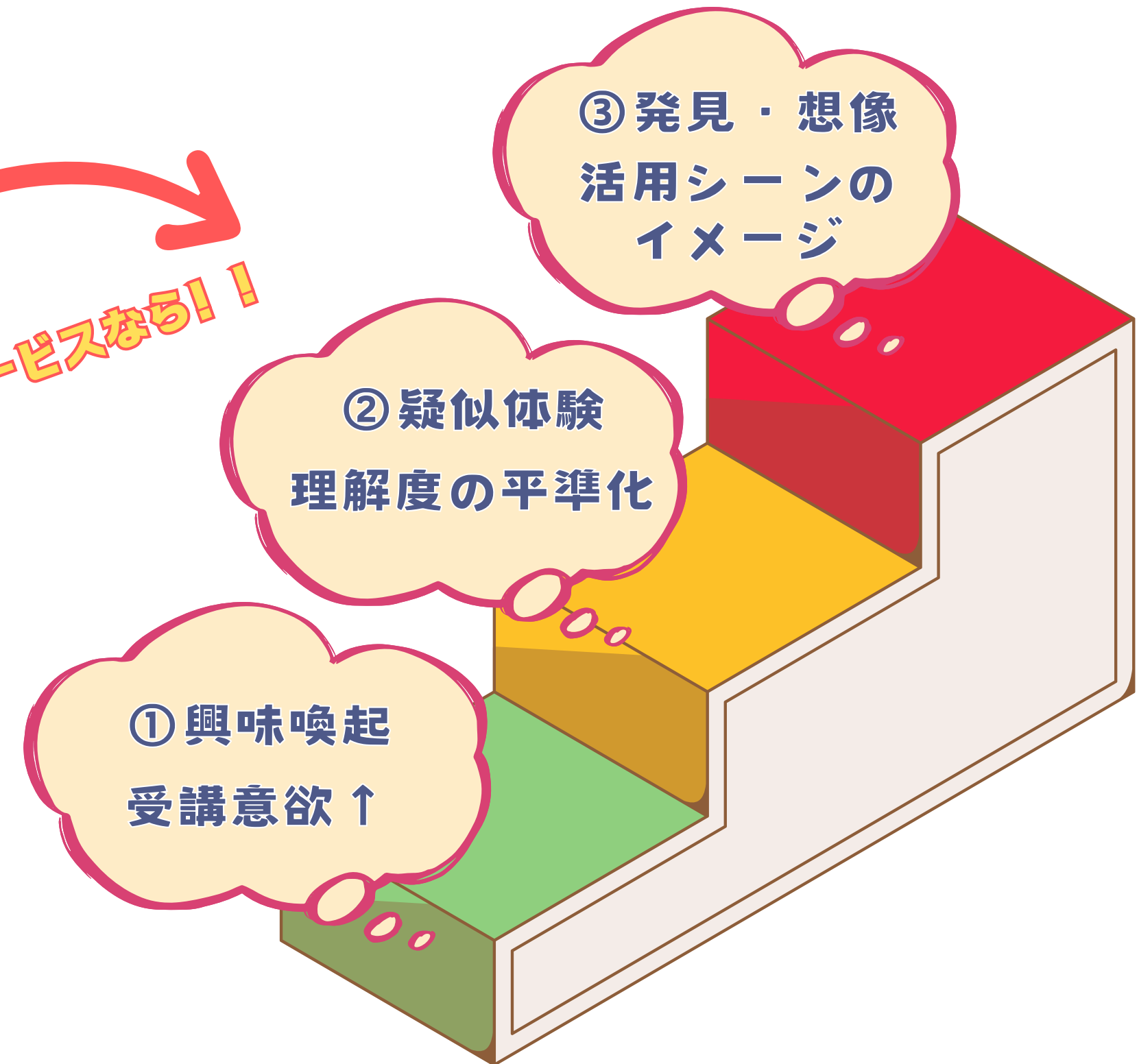
教材の内容が硬すぎて、
受講意欲が高まらない

2

教材の内容が難しく、
理解度にバラつきがある

3

実務で活用するシーン
がイメージできない



動画総合計：約10.5時間（全5章76本の動画で構成）

各章ごとの構成は下記の通り統一

その章で学ぶ
AIツール紹介

ストーリー

登録方法

操作方法

活用方法

興味喚起

疑似体験

実体験

発見・想像

個性的なキャラクター達が課題に直面し、AIを活用して課題解決をしていくストーリーです。

Gensparkを活用した情報収集の時間削減

Googleやヤフー検索などとは違うんですね。

時間を節約。より良い結果。

総務部(A子)

Gensparkを活用した情報収集の時間削減

情報収集に掛かる時間が、10分の1・・・それ以上に短縮できるんですね！これなら業務の合間を縫って情報収集できそう・・・

総務部(A子)

Gensparkを活用した情報収集の時間削減

今年発売された文房具の情報収集で検索→10数秒で完了

「2024年 新作 文房具」で検索し、Webページを上から閲覧

Gensparkを活用した情報収集の時間削減

すごい、これは便利ですね・・・でも、この情報って正しいんですか？

総務部(A子)

Gensparkの使い方

- 検索ボックスにキーワードやトピックを入力
- 複数のキーワードを組み合わせも可能
- 関連性の高い情報を抽出し、重要度に応じて整理

● 1. わかりやすいデザイン

お客様からも「直感的でわかりやすい」とご評価いただいております。

● 2. 結果の管理

受講者ごとの学習進捗はもちろん、視聴日時の記録をCSVデータにて出力可能です。

● 3. 飛ばし見防止機能付き

受講者にしっかり学んでいただくため初回のみ飛ばし見防止機能が作動します。

● 4. 修了証発行機能付き

受講を完了した証として、修了証明書が発行されます。



修了証明書
イメージ

1人 / 330,000円（税別）

※1コースにつき

①映像制作編

②AI活用実践編 より選択

AIの活用に特化した研修をパッケージ化し
LMS機能（学習管理システム）を有した
eラーニング動画形式です。

動画視聴後は日常業務にもAIを取り入れる
ことで、業務効率化をバックアップします。



120日間は何度でも視聴可能です。

助成金について

厚生労働省の「人材開発支援助成金
事業展開等リスクリング支援コース」
に申請が可能です。

助成率：75%（大企業は60%）

サービス料
1人/330,000円
(税別)

研修費用を
最大75%助成

1人/82,500円
(税別)

1
お申込み

約10日

2
計画申請

約45日

3
申請許可

約3日

4
研修開始

約45日

5
研修終了

約10日

6
助成金申請

約2~6ヶ月

7
助成金入金

お申込みから研修開始まで 約2ヶ月

研修終了から助成金入金まで 約2ヶ月~6ヶ月